

地球温暖化防止対策と ごみ減量について

6月の環境月間にちなみ、平成26年度に市が
取り組む2つの環境施策について紹介します。

- ・鳥羽市地球温暖化対策地域推進計画の策定
- ・ごみの減量化

環境課環境保全係 ☎(25) 1147
資源リサイクル係 ☎(25) 1149

市内全域で推進する重点的な取り組み

- ①太陽光発電システムの設置を促進します
- ②ごみの排出量の削減に取り組みます
- ③エコな交通づくりを推進します

市では、市民、事業者、行政などが連携して、地球にやさしい、鳥羽の風土にあった暮らしや自然を守る気持ちを広げることを目指し、地球温暖化防止対策や省エネルギー対策に取り組むことを目的とした「鳥羽市地球温暖化対策地域推進計画」の施行を予定しています。平成26年度中には、計画の概要版を各戸配布する予定ですので、みなさんのご協力をお願いします。

鳥羽市地球温暖化対策地域推進計画の策定について



買い物にはマイバッグを持参

②マイバッグ持参やノーレジ袋運動、生ごみの水きりの徹底や堆肥化への取り組みを行います。



加茂小学校に設置した太陽光発電

①温暖化防止行動への転換が図られるよう、住宅用太陽光発電設備の導入支援を行います。
また、公共施設の新築や改修などに際し、太陽光発電設備の導入を推進します。現在市内の9公共施設に太陽光発電設備を設置しています。

具体的な取り組みってどんなことがあるの？



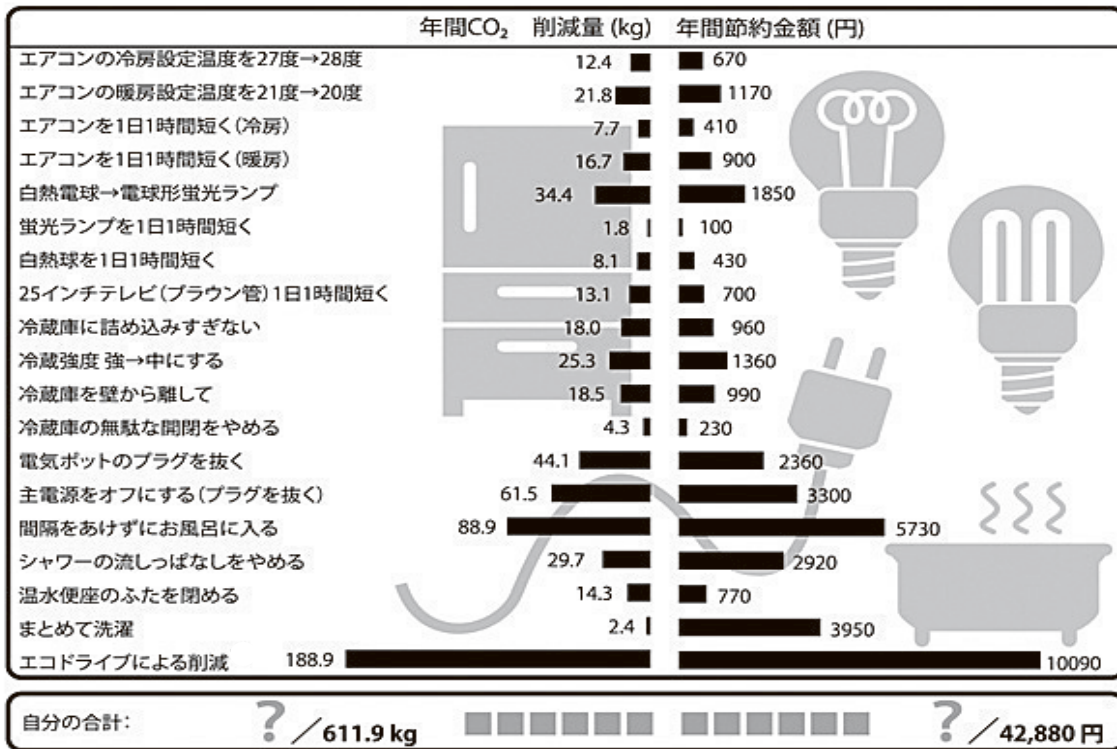
かもめバスを利用しましょう



クリーンエネルギー自動車

③クリーンエネルギー自動車の導入や、公共交通機関、自転車の利用機会の拡大を図り、エコドライブやエコ通勤を推進します。

「家庭でできる省エネ」
みなさんも今日からやってみませんか！



出典：省エネルギーセンター

ごみの減量化を 進めよう



ごみの減量といっても何をすればいいのかわからないというかたも多いはず。例えば、可燃ごみの半分近くが水分だという事実をご存じですか。生ごみを捨てる時に水を切るなど、少し意識や行動を変えることでごみの量は減ります。市民一人一人が少しでもごみの減量に取り組めば市全体のごみの量も大きく減ることにつながります。今回はごみを減らす具体的な実践例を紹介します。

鳥羽市のごみの現状...

平成25年度の鳥羽市の年間ごみ量は12,254トンです。その処理にかかる費用は、約8億円となり、市民一人当たり年間約4万円を負担してごみ処理をしている計算になります。また、全体ごみ量の6割前後を事業系のごみが占め、家庭から排出されたごみ量は4,846トンです。そのうち3割前後が生ごみといわれていますので、1,453トンが生ごみの計算となります。

生ごみは水を切って出すと ごみの減量に効果的

家庭から排出される可燃ごみの約5割は水分です。特に生ごみは水分をよく含んでいますので、水を切ってから捨てましょう。

生ごみの水分を取り除く アイデア

- ・生ごみを捨てる前にギュッとひとしぼり
- ・乾かしてから捨てる
- ・三角コーナーを傾けて水切る



りをする
※生ごみの水分を取り除くことにより、悪臭や腐敗防止に役立ちます。

生ごみ処理機や「ひなたぼっこ」を使って、生ごみを「堆肥」へとりサイクル

生ごみをごみとして燃やしてしまうのではなく、電気式の生ごみ処理機や堆肥化ケース「ひなたぼっこ」を利用することでごみの減量になります。



ひなたぼっこ

市が行う補助金制度

- ・生ごみ処理容器 購入費補助金
- ・事業系生ごみ処理機設置 事業補助金
- ・再生資源回収事業奨励金

市では、ごみの減量化を促進するため、各種補助金制度を設けています。みなさんもぜひ活用してください。各種補助金制度についてくわしくは、環境課までお問い合わせください。